

人間環境大学とのタウンミーティング（要約）

テーマ：学生の視点で松山市を考える

令和7年7月16日（水曜日）

【市長】 皆さん改めましてこんにちは。試験前と聞いていて、いろいろとお忙しかったのではないかなと思いますが、このようにお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。また本日の開催に際しまして、人間環境大学の学長さんをはじめ、総合心理学部長さん、総合環境学部長さん、松山看護学部長さん、そして地域連携委員長さんや事務局の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。私が市長に就任させていただいたのが平成22年で、市長の任期は4年なんです。松山市のタウンミーティングですが、まず1期目、4年間で市内は41地区に分かれるんですが、2巡りさせていただきました。そして2期目からは、地域別のタウンミーティングに加えまして、世代別のタウンミーティング、職業別のタウンミーティングというのをやっています。世代別のタウンミーティングでは、小学生、中学生を始め、高校生、大学生、専門学校生の方々、そして若手の社会人、子育て世代の方々、働く世代の方々、また人生の先輩方に当たりますシルバー世代の方々にそれぞれお集まりをいただいて開催しています。また職業別のタウンミーティングでは、農業をしている方々とか、例えばですけど、商店街の方々ですとか、またコロナで経済が大変影響を受けているときには、経済の実態にお詳しい金融機関の方々に集まっていいただいて、職業別のタウンミーティングも重ねています。今日もそうなんですが、こちらに広報タイムとあります。3期目からはこれまで参加された皆さんから、タウンミーティングで松山市の取り組みを知ることができて勉強になったとの声を多くいただきましたので、意見交換の合間に広報タイムというのをとらせていただいています。現地現場で実際に業務に携わっている松山市の職員から市民生活に役立つ情報を、ご紹介をさせていただきます。現在、私4期目ということになりますが、本日のタウンミーティング通算で144回目ということになります。いただいたご意見、できるだけこの場でお答えをして帰ります。また、国と関係をする案件とか、愛媛県と関係をする案件とか、財政的によく考えなければならない、そういったものはいい加減な返事をして帰るわけにはいかないですから、一旦持ち帰って、1カ月をめどに必ず返事をするというのが、松山市の聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしないタウンミーティングの特徴です。本日は大学生の皆さんならではの視点で発言をいただいて、有意義な意見交換にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【質問者】 道路の路面状況について意見がございます。最近、松山市の道路が綺麗になったなというふうに思うことがありまして、それに付随するような形で自転車レーンのような、なんでしょうね。自転車を誘導するような点線というか水色の波線で誘導するようなレーンがあるんです。自転車を走りやすくするためにつけていただいているのかなと思うんですけども、スポーツタイプのロードバイクとか乗っていると、点線の上に乗ったときに

ガタゴトして、逆に走りづらいなと感じるときがあります。そこで、点線をなくしたり、あとは完全に一色にレーンを塗っていただくような形で、道路を整備したりすることを考えていらっしゃいましたら教えていただきたいです。

【都市・交通計画課 副部長】 ご意見ありがとうございます。自転車を使って移動していただくというのは、渋滞の緩和だったり、地球温暖化防止であったりとか、健康増進などのメリットがありますので、ぜひ皆さんにも自転車に乗っていただきたいんです。自転車の道路の色の付け方の説明だけ先にさせていただくと、自転車の皆さんに安全に安心に乗っていただけるように松山市では自転車道とか自転車専用通行帯とかを整備しています。こういったところは「自転車だけが通行できるよ」って案内板などをつけていて、分かるようにしています。多分おっしゃられているのは学校の前の道にもありますかね。なんかあの点線と自転車のマーク。矢羽根っていうんですけど、水色の表記があるところですが、こちらがそういう専用の通行帯まではちょっと取れない、道路の幅が取れないんだけど、ここ自転車が走るんだよということを分かりやすくしています。車にも自転車の人にも分かりやすいことで安全を確保しようと、この表現の仕方は実は国が定めたガイドラインにのっとって整備はしています。ただ、おっしゃられるようにガタガタして危なかったりっていうのは、その塗ってる塗料の量だったりとか下のアスファルトの状況などにもよっても変わってきますが、危なかったら元も子もないですね。どういった対策ができるかちょっと考えてみたいと思いますので、具体的に気になる場所とかがあったら、終わった後にも教えていただいたら、道路の担当にご意見があったよっていうのを共有していきますので、また教えてもらったらと思います。

【市長】 私の方から。道路に穴ぼこがあったりするじゃないですか。今の松山市の公式LINEで、通報できる仕組みができていますよ。LINEで写真を送ってくれたらね、写真でどういう状態なのか分かりますし、位置とかも分かりますよね、GPSの機能です。ので、LINEとっても便利なので、ちょっと危ないなっていうところ見つけたら遠慮なく言ってください。「みち水路メンテナンス課」っていうのを作っていて、急いで出動したりしていますので、よろしくお願いします。ちょっと今日は特徴的で、偶然なんだけど、今お話しした副部長は、建築の技師です。お隣に座っている部長さん市民部長さんですけど、女性ですね。タウンミーティング課長も女性ですね。偶然3人並んでいます。本当、外国に行ったら、女性の管理職の方ってすごい多いんですよ。私は政治家だからどうしても4年に1回は選挙する人間なんだけど、やっぱり外に出ると、女性の活躍ってものすごく大事だになっていうのを改めて認識するんです。今、松山市役所の採用試験って皆さん受けに来るんだけど、結局女性の方が多かったりするんだよね。合格されている人ね。あの、別に男性を虐げているというわけではないんですよ。僕はどんどん女性の活躍は推し進めていきたいと思っているので。はい、男性ももちろんですけど、どんどんいろんなことにチャレンジしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

【質問者】 松山市の人口減少対策についてお尋ねします。松山市はまつやま未来コネクトなどのプロジェクトを実施していると聞きましたが、具体的にどのような取り組みを行っているか教えて欲しいです。

【市長】 人口減少対策は、これはどうやったらいいかな。私の方からいこうか。はい、私の方からちょっと答えさせていただきます。ざっくりとした言い方になりますが。お名前珍しいけど沖縄かな、本当よく来ていただきました。ちょっと皆さんに聞いたかったんですけど、県内の高校から人間環境大学に進学してるよっていう方ちょっと手を挙げてください。はい、ありがとうございます。県外の高校から人間環境大学に進学してるよっていう方ちょっと手を挙げてください。県外から、結構多いね。ごめんなさい、どこからですか何県から。香川県、ありがとうございます。後ろの方は、沖縄から。ありがとうございます。ほか私、何県ですっていう人がいたら言ってください。はい。

【参加者】 愛知県です。

【市長】 愛知県、ありがとうございます。岡崎にもあるもんね。ほか何県ありますか。はい、どうぞ。新潟、よう来てもらいました。うち燕市さんと仲良くしてるの。はい、分かりました。県外の方もいらっしゃるということで、分かりやすく説明したいと思います。今ですね、人口減少対策は、先ほど申し上げた、もう子育てがしんどいから、結婚しても子ども欲しくないわっていう方もいらっしゃいます。子ども1人産んだら、もういい、子ども2人なんて考えられないっていう方もいらっしゃるの、できるだけ先ほど申し上げたような子育て支援をするっていうことも大事ですね。皆さんに分かりやすく言うと、もう日本は人口減少の局面に入ってるんだけど、お父さんお母さんがおって、お父さんお母さんはいずれ残念なことだけどつらいことだけど、亡くなりますよね。お子さんが2人だったら均衡なんですよ。お子さんが3人生まれて初めて人口が増えていく。なので、今大体どこも1点なんぼぐらいです、出生率。なので、これをどう増やしていくかっていうのは、まず政治の立場で言うと、できるだけ子育て支援をしていくっていうことだと思います。それと、J R松山駅、今のJ R松山駅から新しくなろうとしています。前の駅舎は71年使っていたので言うたら、70年とか80年に1回のことが今起ころうとしてるんですね。道後温泉は100年に1回のことが終わったんだけど、もう一つの駅の松山市駅は来年秋にできるので、大体30年ぐらいの懸案が終わるっていうことになります。J Rの方は70年から80年に1回の案件をやっている。魅力的な場所にします。今、皆さんもお聞きになっていると思うけど、アリーナ。琉球強いよね、バスケットね。今、Bリーグが全国でチームを広げていきたいっていう構想があって、Bリーグの基準って5,000人なんです。5,000人よりちょっと小さいアリーナを作る必要はないですよ。なので、5,000人規模のアリーナ、今、民間さんと連携してより良いアリーナを作っていければなというふうに思ってます。それと、駅の西側の一部分なんですけども、民間さんと連携して商業の場所だったり、今は、気温が35度とか36度とか上がるでしょ。さっき先生と話してたんですけど、今若いお父さんお母さんから言われるのは「市長さん、夏は公園に行っても35度とか36度まで上がった

たら、滑り台を使ったらお尻が焼ける。」って言われる。そりゃそうですね。ですから、暑さ寒さも関係なく、子どもが楽しめるようなアミューズメントを民間の力で、駅の周辺に建てていただけたらとか。商業とか賑わいのところ飲食もそうですね。これで最後にしますけど、そういった形で、全部市役所のお金で作ろうと思ったら、それは皆さんの税金っていうことだから、できるだけ民間の力を借りてやる。民間の方はいろんな知識とか経験とかノウハウを持っているから、できるだけ民間さんの力と連携して、より良い松山駅周辺にしたいと思ってます。人が集まる、人が選んでくれるような都市にしていきたいと思ってます。これが難しいのが、全国でこの競争になってるんですね。松山もそうだし、高松もそうだし、広島もそうだし、岡山もそうだし。でもこれ頑張っていくしかないなと思っていますので、よろしくお願いします。

【質問者】 先ほどの質問にも繋がるんですけど、若者が松山からどんどん出ていってしまってるんじゃないかと思っていて、実際自分の高校の同級生も県外の大学に行ったりしてるんですけど、若者が戻ってくる仕組みであったり、若者がとどまりたいと思う仕組みがあるのかなっていうことを考えていて、今回のタウンミーティングに参加するにあたってちょっと調べてみたら、「マツワカ」というのは見つけたんですけど、自分から調べに行かないと、松山市の魅力とかそういうものになかなかとり着かないのが現状かなと思っていて、そういうところの対策が何かあれば教えていただきたいです。

【市長】 分かりました。この話からしよかなと思うんですけど、できたらみんな情報は与えられるものではなくて、取りに行った方がいいです。まさに7月20日に参議院議員選挙があつて、皆さんにも、いろんな情報が流れてくるけども、やっぱりネットしていると、自分の関心のあることだけが集中的に送られてくるよね。ですので、偏りを生じてしまう。これ本当かなって思うようなことは調べるっていうことが大事です。与えられるのではなくて、やっぱり自ら情報を取りにいくっていう姿勢が、特にこれからの世代には大事なんじゃないかなと思います。行政としてもできるだけ知ってもらおうと思って、いろんな手段を使って広報するんだけど、なかなかいかないんですね。僕らも頑張りますけど、皆さんも頑張って情報を取りに行ってもらったかなと思います。松山のPRできるところをちょっと紹介すると、住みやすさかな。私も高校のときは絶対に大学は親元離れてやるって思ってたので、これ、ある程度しょうがないところがあると思います。やっぱり松山・愛媛の子は、東京や大阪とか県外に大学になったら出るぞ、専門学校だったら出るぞって思ってる人が多い。それはもう東京や大阪の魅力って、それはすごいですよ。でも帰ってきてもらえる場所にしていきたいなと思っているんですね。私を知らない人も多いと思うけど、前の仕事ってアナウンサーなんです。南海放送のアナウンサーとして20年勤めてましたけど、大学は岡山に行っていました。松山と同じ瀬戸内やけど、岡山とは違う魅力があるなと思って帰ってきたいと思って帰ってきた。そうやって帰ってきてもらえる場所に、更にしていきたいなと思います。道後温泉、自慢できるところ、さっき言った、日本の温泉百選で2位に入っ

てるよ。じゃらんで3番に入ってるよ。もう日本でも有数の温泉です。3,000年の歴史があるって言われています。松山城ですけど、これも分かりやすく言いますね。明治時代になったら、お侍さんいなくなったんで、基本的にはこういうお城ってできないですよ。大阪城のような、鉄筋コンクリートでエレベーターがあって復元みたいなお城はありますが、松山城は江戸時代の終わりの方に完成しているんですね。ですので、日本で最後の完全な城郭建築と言われます。日本で1ダースしか残っていない。江戸時代までに建造された天守閣があるお城です。松山城は、やぐらを廊下で結んでいる連立式天守って言まして、そういう作りは松山城と姫路城と和歌山城なんです。なので、全国のお城の中でも極めていいお城っていうことが言えます。住みやすいついていうところで言うと、地元での食材が手に入りやすいとかスーパーとかの距離が全国平均に比べて極めて近いとか、余暇の時間が長いとか、通勤通学にかかる時間が短いとか、そういう住みやすいついていう特徴はかなりあるなと思っています。そういうのをしっかりと発信して行って、皆さんが帰ってきたいまちになっていければと思います。都会に行きたいっていうのはもう止めることできないから、できたら帰ってもらえる、そんな場所にしていきたいなと思っています。最後に、移住は多いんですよ。香川・高知・徳島は、どこも何百人台なんですけど、愛媛は6,000人台、そのうち3,000人が松山市ですから、ものすごく移住が多いのが松山の特徴です。

【質問者】 朝涼しい時間帯によく散歩に行っているんですけど。そしたらごみを捨てる特に火曜日、金曜日、燃えるごみの日なんですけども、網がかぶっているじゃないですか。それをカラスが、網からごみを取り出して、道路に散らばらしているんですよ。それがよくあるので、僕の前住んでいた町では、重りを網の端っこに置いて防止したんですけど、それが松山市ではできてないんで、そこをどうにかして欲しいなっていうのがありまして。歩きやすいんですけども、お願いします。

【環境・ゼロカーボンシティ推進課長】 カラスの被害なんですけれども、今おっしゃっていただきました松山市のごみ集積場所なんですけど、こちらの方はですね全体で約2万カ所あります。そのごみの集積場所については、町内会など地元の皆さんに管理をお願いしているということになります。ですので、例えば先ほど言いました石の重しを置くとか、例えばネットをかけるとか、その辺はその集積場所のご事情によって、地域の皆さんで置いているということになります。ただ、もちろん市としましてもいろいろご協力をさせていただいてまして、カラスによるごみあさりの防止をするために、特にごみ集積場所の防護ネットをつけるという先ほどおっしゃっていただいたようなことであるとか、生ごみが見えないように捨てていただくとか、そういったごみの出し方をいろいろとご相談させていただいてお伝えしています。その他にもですね、松山市にりっくる、まつやまR e . 再来館(りさいくるかん)という建物があるんですけども、そちらの方で、カラスの嫌がるグッズの貸し出しもしています。例えば、カラスが嫌がる音を出すようなグッズなどを貸し出ししています。あと、あわせまして繁華街で餌になるようなごみに集まらないように、事業

系のごみは蓋をしたバケツに入れて出していただくようにするなどの啓発をしたり、早朝パトロールで荒らされたごみを清掃するなどもしています。もし特定の場所で被害がひどいよということがありましたら、ご指摘のありました場所の町内会さんに、「こういうご意見もありますよ」「こういうグッズの貸し出しなどもしてますよ」ということも周知できますので、また何かありましたらお伝えいただけたらと思います。

【市長】 今日のタウンミーティングは6時までですけど、私達6時になった瞬間にぱっと帰ったりはしませんから、地図も持ってきてますので、市長さんここ危ないですよとか、ここのごみステーションが気になるんですよとかあったら、遠慮なく言ってください。すぐに対応します。誰に言ったらいいかな。副部長が、その担当になりますんで、今日は遠慮なく、課長さんも連携してね、ごみの方ね。水路のこととか道路のこととか、ごみステーションのこととか、遠慮なく言っていただけたらと思います。よろしくお願いします。いいこと言ってもらいました。松山はコンパクトシティって言って、お城の周りに開けている城下町なんで、街がコンパクトにできているんですよ。例えば、どことは言わんけど、やっぱ広いところにできている街ってあるんですよ。そういうところだと、バイクがないと車がないと、ちょっと自転車だと移動がしんどいなという場所もあります。それと、どこって言うのはちょっとやめとこう思うんですけど、坂が多い街だと、自転車で移動するにはしんどいな、原付ないとということもあります。雪がものすごく降るんですよとか、雨がいっぱい降るんですよって言うところも、自転車は向かないですよ。そう考えると松山ってすごく自転車に向いてるとこなんです。私の後悔は、大学のあるときにあんまり近所を歩いてないの。バイクで移動して。なので、歩いたりとか自転車で自分の住んでいる周りを巡るっていうのは、大人になったら、いろんなところ回ってよかったなと思うので、ぜひ松山を楽しんでいただけたらと思います。

広報タイム①「家具転倒防止対策の必要性」

【市長】 彼、消防士なんです。本町6丁目に消防局があるでしょう。たまに見るかな。重そうなものを背負って、暑そうな服着て一生懸命走ってる光景を。あれは皆さんの命を守るために日頃から訓練してるんです。私達は皆さんの命、生活、財産を守りたいんです。でも大きい災害が広いエリアで起こってしまったら、どうしても時間かかるんです。ですので、皆さんで備えていただくことが大事になります。どうぞ備蓄してくださいね。水とか、生活物資とか。食べ物とか。私は東日本大震災のときに羽田空港で一夜を明かしました。いわゆる帰宅難民になったんです。でね、あそこは吹き抜けになっていて、毛布とか食べ物とか配られるのが見えるんだけど、もうね、外のタクシー乗り場で3時間待ってたんで、並ぶ気にならなくて、お子さんとかお年寄りに渡してあげてください、みたいな気分になるんですね。自分で備蓄すると、並ばなくても手に入る。好みのものが手に入ります。行政でもしっかり備えていきますんで、皆さんも備蓄の方よろしくお願いします。

【質問者】 本日は、最近話題の「ナガエツルノゲイトウ」について。松山市にまだ来てないんですけど、西条市と今治市で発見されたってことで、松山市は今後、そういった対策、特定外来生物の対策だったり、入った後の侵入の駆除だったりをお聞きしたいなあって思います。やっぱり遮光シートとか除草剤を撒いたりすると他の生態系にも悪影響が出るので、他の対策もあつたらぜひ教えてください。

【環境・ゼロカーボンシティ推進課長】 ご指摘のございました「ナガエツルノゲイトウ」は、刈り取った茎のかけらから芽を出すなど、再生力や繁殖力が強い南米原産の雑草ということになります。川の水門近くで広がると水の流れが止まったり、洪水のリスクが高まってしまうとか、田畑で広がると栽培や収穫の妨げになると言われ、特定外来生物に指定されています。愛媛県では、もうよくご存知だったんですけど、今治市の猿子川や西条市の新川で見つかりまして、現在、愛媛県が今年5月に防除実施計画を作り、対策に乗り出しています。松山市内では、まだ確認はされていないんですけども、松山市といたしましても愛媛県の計画を基に、水路や農地を管理する地元の皆さんに、注意の方を呼びかけているところです。今後ですね、市内で発見された場合には、土地を管理されている方に防除方法等をお伝えいたしまして、取り除きと広がりがないような、そういった対策を徹底していきたいと考えています。あと特定外来種につきましては、こういった植物や動物などもございますけども、何か気になる点がありましたら、直接触ると危険がある場合もございますので、松山市の環境指導課の方に一報いただけたらすごく助かります。

【市長】 フィールド自然学科ですか。さすがですね。去年ですね、特定外来生物でいうと、ヌートリアっていうのが出たんですよ。今まで松山にいなかったのに。さっき私、大学は岡山だって言ったでしょ。岡山はね、ヌートリアすごい多いんですよ。ビーバーみたいなやつ、大きいねずみがね。どうも、中国地方にはいるんですけど、大雨で川から海に流れて、結構泳ぎが達者みたいで、松山の沖の島にたどり着いた。ものすごい繁殖能力があると記憶していたので、ちょっと重点的に対処しようということで、それからもう発生ないんですけど。松山市の仕事ってすごい幅広いでしょ。松山市は大体100ぐらいの課があるんですけども、幅広い仕事をさせていただいています。特定外来生物にも、しっかり対応していきます。

【質問者】 松山市の犯罪発生件数についてお聞きしたいのですが。松山市は再犯者の数が半数を超えていて、市が新しく設置した「松山市再犯防止推進計画」について、具体的にはどのような支援事業が動いており、国・県や民間とどのように連携しているかをお聞きしたいです。

【市長】 いいですね。大学生、さすが専門的ですね。

【市民部長】 ご指摘の通り、松山市の再犯者率が令和5年は約50%、令和6年は約48%とわずかに減ってはいるんですけども、およそ半分は犯罪を繰り返している状況です。全国的にもそのような傾向が続いていて、そういう中で、刑務所では刑罰を執行する

だけではなくて、受刑者の方々の社会復帰の支援をしていく、そちらの方にも力を入れるようになりました。松山市でも、今、「第二次再犯防止推進計画」というのを作っているところです。第一次計画も作っていたんですけども、その計画を引き継いで、再犯に繋がりやすい原因と言われる、特に無職の方とか、高齢者、障害のある人に対して、仕事とか住まい、保健医療などの面で、今もサポートする体制を作ってるんですけども、さらに、強めていこうということで、例えば、包括支援センターとかハローワークさんなど関係機関との連携をより深めて、サポート体制を強めていきたいと考えています。国や県の計画もありますので、それぞれの役割分担を踏まえて、市の役割を果たしていきたいと思っています。

【市長】 そんなお答えになります。私、人間環境大学さんができて、総合心理学科ができたとき、良かったなと思ったんです。私が高校生のときはちょっと心理学に興味があったんだけど、心理学を学ぼうと思ったら、県外に出ないといけなかったの。私は経済学部に進むのか、日本史の先生になりたいかったこともあって、日本史の先生の道に行くのか、ちょっと心理学も興味があったんだけど、結局、経済学部を選びました。本当に総合心理学科でよかったなと思っています。皆さんが、大学ときに得た専門的な知識って、すごい社会の役に立つものだと思いますので、頑張ってください。

【質問者】 私は松山市のごみの分別について質問させていただきます。沖縄からこの松山市に引っ越してきて、最近一人暮らしを始めたばかりなんですけど、松山市は、ちょっとごみの分別が厳しくて、ごみ出しの時間もちょっと早いかないというイメージがあってごみ出しが大変だなんて感じる日もあったんですけど、今回のタウンミーティングに向けて自分で調べたり、先生に調べていただいたりすることでごみの有料化、収集の有料化しないようにという話だったり、異臭がしないようにとか、動物からの害がないように、早めの時間に集めてるんだよっていう素晴らしい理由を聞かせていただきました。先ほど市長さんがおっしゃっていたように、自分から調べるということもとても大切だと思うのですが、市民全体が協力していく上でだったら、やっぱり分別の必要性だったり、リサイクル状況の説明を若者にして、若者の考えや行動が変わるために大切なのかなと思うので、周知を検討していただきたいなと思いました。

【市長】 皆さん、「ごみ分別はやわかり帳」持っていますか。今日、道後湯築地区のごみカレンダーを持ってきたんですけど。うちも家に貼ってます。結構、役立つ情報が載ってます。できるだけ分かりやすく喋ろうと思うんですが、今、松山市はごみ11分別です。調べてもらったら、自治体別で全国には1,700を超える市町村があるんですが、14分別というのが一番多い。自治体の数で。うちは11分別なんで、まだ分別の数としてはものすごく多いというわけではない。実は松山市は、市民の皆さんが頑張ってくれていて、中核市って、人口20万人から70万人の中なんですけど、一人一日当たりとすると、中核市の中ではごみが2番目に少ない。47県庁所在地の中では、松山市一番ごみが少ないんです。なので、市民の皆さん頑張ってください。頑張ってくれてるので、ごみ袋の有料化はで

きるだけしたくないなと思ってるんですよ。ごみ処理施設って大体ね、場所によるかな。山の方にあるところもあるし海の近くにあるところもあるけど、ちょっと想像してみてください。ごみ処理施設を作ろうと思ったら、燃やすから高い温度に耐えうる建物が要りますよね。臭いがしちやいけないから、臭いも出さないような施設にしないといけないですよ。と考えたら、高くつくの。ごみ処理施設を作ろうと思ったら。それと周辺住民の方からは、いやいや、うちの近所にごみ処理施設なんか持ってこられたら困るよっていう。一般的にね。なので、どこでも建てれるというものではない。ごみ処理施設は、近隣の方々にご協力いただいて、初めて建てられるものだと思います。ですので、若い世代の皆さんに、ごみ処理施設って建てようと思ったら、ものすごくお金がかかるんだ、ハードルが高いんだと思ってください。ごみが少なかったら、ごみに対する費用が少なくて済むじゃないですか。ごみ処理の費用って誰が出してますか。皆さんです。なので、ちょっと面倒かもしれないけど、ごみをちゃんと分別して出してくださったら、ごみ処理にかかる費用が減らせるんです。松山市も家計と一緒に、お財布の中でやってるんだけど、ごみ処理にかかるお金がぐわっと膨れたら他を削らないといけない。家計と一緒にです。なので、協力していただけたところは、できるだけ協力していただいてという形でやっています。できるだけ皆さんのご協力をいただきながら、ごみ処理を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【質問者】 地震と土砂崩れの自然災害が日本全国で相次いで発生しています。当大学でも昨年文化祭の当日、豪雨に遭いまして、施設が浸水いたしました。そこで、松山市としての災害に対する対応のシミュレーションや対策の準備は万全なのでしょうか。また、大規模災害が発生した場合、四国という周りが海に囲まれて、なかなか食料など物資が届かないことが予想されるのではないのでしょうか。お願いします。

【市長】 皆さん、お家に「防災マップ」ってありますか。なかったら市役所、支所とかでお渡しできます。この防災マップの中には役立つ情報がいっぱい載ってます。ですので、なかったら言ってください。無料ですから。それで、松山市では、先ほど紹介してくれましたが、防災危機管理部っていうのを置いています。国や県や民間の専門機関と協力して、災害対応の計画やマニュアルを作って、市民の皆さんとの防災訓練を繰り返し行っています。今です。熊本地震の経験で、分散備蓄って大事だと思って。例えば、集中的な備蓄だと、坊っちゃんスタジアムのスタンドの下とかにしてるんですけど、今はできるだけ各公民館や小中学校などに分散して備蓄するようにしています。それと、これは東日本大震災のときに、南三陸の町長さんから教えてもらったんですが、松山市が南三陸の担当になったんで。

「町長さんね、どういうことを準備しておいたらいいですか」って聞いたら、「野志さんね、行政でできることには限界があるんだよ。いざっていうときに助けてもらえるっていう民間さんとの協定をどんどん結んでいくことだね。」と言われました。例えば、南三陸町では、ベイサイドアリーナっていう体育館が高台にあったんです。そこに全国からの支援物資がワッと集まってくる。今、災害が起こったときには、一方的に送らないでくださいって言

われてるんです。これは例えば、トイレトペーパーがワーツと送られてきて、ありがたいかもしれないけど、本当はまだ欲しいものが他にある。置く場所も限られますよね。そういうときに、例えば宅配便さんの会社ってどこに何を置いて、どう運んだら一番効率的だって、分かっているから、そういうところと協定結んだらいい。いろんな形の協定を結んで今、民間の企業35社と物資供給の協定を結んでいます。先ほど、ちょっと言ったことと重なるんですけども、海に囲まれた地理条件でも、航空機とか自衛隊さんの飛行機とか、状況に応じて船や車を使って松山市に向かうこともできます。でも、松山市で大規模災害が起こってしまえば、どこでもそうなんですけども、市外から支援が届くのは早くても発生から3日後と言われています。ですので、さっき言ったように、皆さん、自分で備蓄もしてくださいねっていうお話になるんですね。家庭内の備蓄、少なくとも3日分、できれば1週間程度ご用意ください。重ねてになりますけど、この防災マップ。言ってくれたらお渡しできますから、これに役立つ情報いっぱい書いてますんで、どうぞ備えていただけたらと思います。

【質問者】 今、私は、新居浜から松山のこの学校に通っているのですが、日々の通学の間の空き家のことをご質問をさせていただきます。私が通い始めて3年になりますが、その間でも2軒のお宅が空き家になっているのを、通学途中で気がついています。授業の間に、地区調査ということを松山市内で行わせていただいたのですが、幹線道路1本入りまして、その中で少し住宅が密集した場所にありまして、非常に空き家が目立った記憶があります。また、そういう空き家が多いところは、やはり建てる時代が一緒なもので、高齢者の方が多かったりします。そうなった場合、空き家が周りに増え始めると、そこでまだ住んでおられる高齢者の方が孤立したり、または引きこもりになったりする可能性も非常に考えられると、私はそのとき感じました。今回この質問させていただくに当たりまして、松山市が空き家の対策をしておられるというのは重々、制度として承知しておるのですが、その制度を取り入れてからの成果はどのようなものか、また、先ほどの防災の話も踏まえて、やはり能登の先ほどの写真を見た限りでは、空き家だったり、古い家は倒壊の危険が非常に高いと思います。そのことも踏まえまして、松山市の空き家、今後どのように対策をもっと積極的に行うのかを教えていただければと思います。

【都市・交通計画課 副部長】 ご自分で体験されたことを質問していただいて、ありがとうございます。空き家やっぱり増えてまして、松山市がどういう対策をしてるかっていうのを先に簡単に説明させていただくと、空き家があるよっていう情報を得ましたら、まず職員が現地に行って確認をします。空き家だけれども。すぐに倒れるものばかりではないんですが、周辺のお家とか、生活に影響がありそうだな、悪影響がありそうだなという判断をしたら、まずは所有者さんに文書で通知をしたり、場合によっては自宅に訪問させていただいてアドバイスとか、指導を。また、ちょっと強めの指導などもさせていただいてます。経過を観察して、やっぱりちょっと維持管理が適切になされてないな、危ないなっていうときには、それから少しずつ指導を強めていく、より強い対策をさせていただいてます。それだけでも

空き家を持っている方が高齢者の方だったり、対策したくてもできないよ、みたいなこともあったりするんで、危険な空き家になってきたら、解体の費用を援助するっていう制度を、平成30年から始めまして、除却補助という形でさしていただいているんですけども、前年度末時点で269件もご利用をいただいて、空き家の解体をやっていただきました。あとは危険じゃないものを使えるものに、まだ使えるものっていうのは、空き家バンクに登録していただいて、先ほど移住の話も出ましたが、移住も含めて空き家を活用していただける方と空き家を譲りたい方をマッチングする制度も行っています。

【市長】 空き家ってね、難しいのが、一例ですけど。年老いたおじいちゃんおばあちゃんだったりすると「これね、息子がね、帰ってきたときのために置いとってやりたいんよ」みたいなのがあるんです。でも、やっぱりお子さんがなかなか帰って来れなかったりとか、うまく借りてもらおうようになったりできたらいいんだけど、お仏壇があったりして、なかなか借りれなかったりするでしょ。それと、空き家対策の難しさは、民間の土地で民間の建物なんですよ。それを「何で私達の税金を使って直すの」とかっていう話になる。なので、ちょっと難しいところがあるんだけど、ほっておいてはいけないので、ルール作りをして、踏み込んだ対応もできるようにしているところです。ちょっと悩ましいところがあるんですけども、できるだけいい形で進んでいけるようにしていきたいと思います。よろしくお願いします。

広報タイム②「AEDの使い方」

【質問者】 先ほどの住み続けたい魅力あるまちに関連して、住み続けたいって思えるためには、安心して暮らせることが大事だと思うので。先ほどAEDの使い方を教えていただきましたが、質問したいのが、小中学校などでの救急救命の講習会の頻度がどれくらいで、どういう狙いで行われているのかが知りたくて。今日大学の講義で、救急救命も習ったんですけど、そのときに県外から来た他の学生と話していたときに、愛知のその人は、小学校中学校で毎年、救急救命の講習が行われていて「何度も講習はしてきたよ」というふうに話を聞いて、私は松山出身なんですけど、小学校で1回と消防署の方からの講習を受けて、中学校のときには授業の中で1回と部活動で一度受けたのですが、その講習を受けた経験とかが多い方が、やっぱり、いざというときのハードルも下がると思いますし、知識の定着にも繋がるかと思うので。その愛知と、講習の差とかがあったので、これから救急救命などの講習会の予定というか、どういうふうに行われるのかが知りたいです。

【市長】 子どもさんですか。

【質問者】 はい。

【市長】 分かりました。これって誰か数、答えれる人いるかな。教育委員会の話になりますが、教育委員会に行ってた経験のある職員さんで答えれる人。ちょっと数は難しいかな。間違ったことを言ってもいけないので、ちょっと持ち帰らせてください。1カ月をめどに、

必ずお返事をさせていただきます。ちょっと私の知識の中で話しますね。あんまり長くなるといけないけど、教育委員会ってね。別組織なんですよ。他人事っていう訳じゃないんですよ。参議院選挙のことも含めてお話をすると、委員会っていうと選挙管理委員会っていうのもあるでしょう。教育委員会っていうのもあるでしょう。これはね、戦後のGHQが関わるんですけど、日本は戦争で負けちゃったでしょ。教育を変えないといけないっていうことで、あんまり政治家が教育に入っていくようにということで、教育委員会は別にできたんですよ。でもやっぱり、ある程度関わっていくことも大事ということで、新しい教育委員会制度になって、昔は教育長さんって4年に1回、任期4年だったんですけど、今任期3年になってるんですよ。それは、市長が市議会の同意を得て任命をなさうっていうことで、ちょっと制度が変わっていったんですね。話を元に戻します。市長部局じゃないんで、ちょっと知識の中で話しますが、学習指導要領で教育委員会ってものすごくカリキュラムが決まってるなっていうのを感じます。これぐらいしなさいっていうのは、ある程度目安はあるんじゃないかなと思うんですが、よくあるのが学校裁量とかっていうので、土地によって若干違うのかなとは思いますが。例えば、静岡なんかは、やっぱり南海トラフを震源とした地震が心配されてるので、かなりその防災避難訓練とか、密にやってるなっていうのは何となく感じます。もちろん松山も南海トラフ地震心配されてますので、頻度はちゃんと考えてやるべきだと思うんですけど。また具体的な数字、調べてお答えしようと思います。すみません持ち帰らせてください。ありがとうございます。

【質問者】 私は、イベント関連についてのお話をさせていただきたいと思います。松山市内の城山公園のあたりで行われている桜まつりだとか、肉フェスだとか、そういったイベントに今年に入ってから参加させていただく機会が少し多くなりまして、とても楽しいもので、友達も含めて楽しませていただいたんですけども。そちらのイベントの参加人数に関して、コロナ禍を過ぎてから、少し人数がどうしても戻らない部分というのもあると思うんです。参加人数について、少し減っているのではないかなと感じています。先ほど、情報はこちらから集めるものというお話を伺ったんですけども、以前、テレビなどで、そういった情報の発信などをされていることを、よく耳にして、そこから気になって足を運んでみようという機会があったんですけども、近年、テレビを見る機会が少なくなってきた、そちらの情報などを得る機会というのが、少し、なんていうんでしょう、昔より何か狭まっているような印象を受けています。人を集める工夫という部分に関しまして、発信方法について、市の方はどう考えているか、お伺いしたいと思います。

【市長】 分かりました。私の方からお答えします。松山城の下は、城山公園になります。松山市が持っているセントラルパーク、都市の真ん中の大きい公園ということになります。今、サーカスやってますよね。基本的に言うと、サーカスをしたいので、これぐらいの期間貸してくださいって言ってこられる。例えば、肉フェスとか、ビアフェスタとかだったら、やりたい民間さんが、これだけの期間、これだけの場所を貸してくださいって来られる

んですよ。なので、松山市としては、土地をお貸しする立場なんですよ。ですので、今度、サーカスするから来てくださっていうのは、サーカスをされるところが、例えばテレビ局とかラジオ局とか新聞とか使って、来てくださっていう広告を打つ。広告費を払って、という形になります。松山市はお貸しをしているという形になります。ただ、11月の下旬にいつも愛媛県と松山市が一緒になって、「えひめ・まつやま産業まつり」という2日間のイベントをするんですが、これ2日間で、12万人かな、13万人かな、来る、もう一番大きいイベントです。これは、松山市と愛媛県が主催者になるので、愛媛県、松山市が広告を打って、来てくださっていう形になります。出展者は、いろんな方々に協力してもらってという形になりますけど。なので、どこが主体になるかで変わってきます。難しいのは、私もアナウンサーを20年やって、スポーツの実況がしくてアナウンサーになったんですけど、お城の下、堀之内は、国の史跡なので、スタジアムとかは建てられないんです。昔の遺跡が下に埋まっているので、基本的には、昔のまんまのを緻密に再現をするか、守るかしかない。平成10年代だったかな、文化団体とか、スポーツ団体の人も加わってもらって、松山市は堀之内をこうしますっていう計画を立てて、国から28億円の補助金をいただいて、今の形に整備しているんです。なので、あそこに、まずサッカースタジアムを作ればいいですよ。作れたら、勝ってもみんな飲みに行ってくれるし、負けても飲みに行ってくれるし、地域経済の活性化にはいいと思うんだけど。昔はあそこに松山市営球場があって、私もそこでプレーしてたんですけど、もう国の史跡なんで、建て替えができないんです。なので今、坊っちゃんスタジアムは郊外にあるんです。なので、あそこでスタジアムができたらいんですけど、もうそれはまずできない。できたとしても、まず松山市として、国に28億円のお金を返還してからやらないといけないし、まず、その返還制度もないっていうところです。そういう計画のもとに進めてきたんですが、今、堀之内はそういう状況にあります。民間さんが主催でやるケースと、松山市や愛媛県が主催でやるケースと、そんな形があります。そんな答えでいいでしょうか。

【質問者】 私からはですね、主に銀天街の方についての質問をさせていただきたいと思います。やっぱり松山の中心部といえば、大街道だと思うんですが、銀天街も大街道と松山市駅を繋ぐ主要な商店街になると思います。ただ、私も3年目ですけれども、シャッターが下りていたりだとか、かなりお店がなくて、何でしょうね、パーテーションだけで置いている場所も多いと思います。そういった地域の活性化の方も、ちょっと聞きたくて、そういう銀天街だけではなくても大丈夫なんですけれども、地域の活性化、主に商業の方で、何か対策されていることがあれば、お聞きしたいです。お願いします。

【市長】 私の方からお答えします。私は松山南高校なので、比較的、銀天街の近いところにある高校なので、それこそ土曜日の午後なんかは、銀天街に行くの特に楽しみだったですね。思い出がたくさんあります。まず、商店街は、松山は大街道にしても銀天街にしても、空き店舗率っていうのは、コロナの場合は10%程度で、全国の商店街の中ではとても健闘

してたんです。今、松山の商店街で大健闘なのは、道後商店街とロープウェイ商店街。今の時代だけど、基本的に空き店舗がない。空いてたとしても、もう後の借主は決まってますよっていう感じだそうです。大街道、銀天街については、うちの親戚も大街道で帽子屋さんかな、やってたんですけど、もう商いの仕方が変わってしまいました。インターネットで買い物して、届けてもらえるような時代で、個店に行かなくなった。だから、商いが変わってきたというところがあります。コロナで影響を受けたっていうのも大きなところですよ。銀天街の方々は、ゲットっていうところがあるんですが、大きな商業施設、あそこの再開発ができるかどうかポイントだと思います。皆さん様子見てらっしゃるから。で、銀天街については、やりたいって思ってる方もいらっしゃる。もう一つ、大街道、一番町の電車通り、県外から来た人ごめんなさいね、できるだけ分かりやすくしゃべります。大街道の入口、電車が通っているところ、かに道楽がありますけど、かに道楽の横っちょに、昔の国際ホテルってあるんですけど、この国際ホテルも、オーナーさんは再開発やりたいと思ってる。でも、東京の例なんですけど、麻布台ヒルズっていうところがあつてね、ここツインタワーでやろうとしたんだけど、今、人件費と資材費がものすごく上がってるでしょ。三井住友建設さんだったと記憶してるんですが、ちょっと大きい赤が出たんですよ。デベロッパーさんっていうんですけど、開発業者さんは、そういうのを見てると、ちょっと慎重になりますよね。国際ホテルは1回、計画練り直しになりました。今、そんな全国の状況です。ですので、あそこ、国際ホテルの後も、銀天街も、民間の土地で民間の建物なんだけど、松山市にとっては大事なところなんで、最大限支援しますよって発表しているところです。ですんで、いい形で実を結ぶように、うちも全力で支援をしていきたいと思います。松山にとって、私は大街道、銀天街、まつちかタウン、中心商店街は、宝のようなところだと思いますんで、できる限り支援をしていきたいと思っています。大街道、銀天街、ロープウェイ街、道後、J R松山駅も新しくなりますけど、みんなもできるだけ楽しんでもらったらと思います。

【市長】 最後、18時が近づいてるんで、ちょっと私の方から最後の締めをさせていただきます。本当、今日は嬉しかったです。たくさん手を挙げてもらって。実は、うちの子どもは25歳と28歳かな。うちの子どもより若い世代になるんで、今日、どんなになるかなと思ってたところがあったんですけど、いっぱい手を挙げてもらって嬉しかったです。県外から松山に進学でいらっしゃる方がいて、嬉しかったです。松山を選んでいただいてありがとうございます。ちょうど7月20日の参議院選挙があるので、あの、誰に投票してくださいなんては絶対言いません。皆さんが選んでください。でもね、絶対投票には行って欲しいんですよ。投票には。だってね、できるだけコンパクトにしゃべりますね。江戸時代は選挙なかったでしょ。明治になって初めて選挙っていう制度が日本に導入されて、最初は、男の人で、税金をよく納めている人しか選挙権認められなかったんですよ。感じ悪いでしょう。お金持ちの男の人しか選挙権あげませんよ。徐々に撤廃されていって、女性に選挙権が与えられたのは、後の世になってからですよ。日本の民主主義の歴史の中で、選挙権、選挙に行け

る権利っていうのは獲得してきた歴史なんです。だから、私がよく言ってるのは、放棄はして欲しくない、行使して欲しいんですよ。どうせ私ぐらい行かんかって関係ないやろって思うかもしれないけど、1票1票の積み重ねなんで。もう行ってる方もいらっしゃるかもしれないけども。できるだけ7月20日、それに限らず、選挙には、できるだけ行ってほしいなと思います。インターネットのことも言いましたけども、情報は取りに行つて欲しいと思います、できるだけ。環境は与えられるものではなくて、変えていけるものなんです。みんな積極的に動いて行ってほしいと思います。学生さんのときに、いろんなことにチャレンジしてくださいね。おのずと道は開けますから。これで終わりにしたいと思います。今日はありがとうございました。

—了—